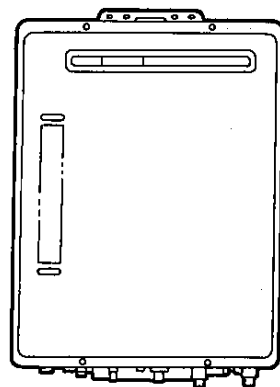


ガス風呂給湯器

〈強制循環タイプ〉

31-215/216/217型

型式名 RUF-2000PW
RUF-2000PWT
RUF-2000PWB



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

大阪ガス

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社 大阪市西区千代崎3-2-95 電話 大阪 06 (588)3200 〒950
 南都支社 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131 〒590
 北部支社 高槻市藤の里町30-6 電話 高槻 0726(71)0361 〒569
 東部支社 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(62)1131 〒578
 兵庫支社 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100 〒650
 京都支社 京都市下京区中堂寺薬田町1番地 電話 京都 075(311)7361 〒600
 奈良支社 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111 〒631
 和歌山支社 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481 〒640
 兵庫西支社 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(85)2221 〒670
 豊岡支社 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221 〒668
 滋賀支社 草津市遍分町字荒畑690-1 電話 草津 0776(62)5311 〒525
 滋賀東支社 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131 〒522
 (長浜営業所) 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)7171 〒526
 本社・ガスビル サービスセンター 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06 (202)2221 〒541

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスセンターにご連絡ください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

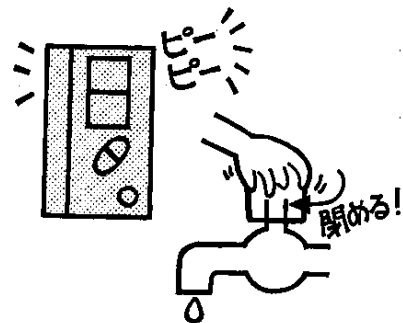
● 特長・機能の紹介	1
● 必ずお守りください	2
● 各部の名まえと扱い	5
● 初めてお使いいただくときに	9
● 使用方法	
・時刻設定	10
・給湯・シャワー	11
・お知らせブザー	13
・沸きあげ保温	14
・あつ湯	18
● 凍結予防のしかた	17
● 点検・お手入れ	21
● 故障かな?と思ったら	22
● 仕様	25
● 保管とアフターサービス	26

特長・機能の紹介

1 沸きあげ保温運転で、4時間は「お湯が冷めたら保温」を自動的に調整。いつでも快適なお風呂に入れます。



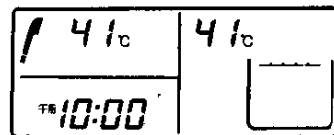
2 ブザーでお湯はり(蛇口からの落とし込み)量をお知らせします。(ブザーが鳴ったら必ず湯はりの蛇口を開けてください)→13ページをご覧ください。



3 お好みに合わせて「あつめ」のお風呂が楽しめます。→18ページをご覧ください。



4 リモコンの表示画面で、お風呂の設定温度や時刻が一目で判ります。



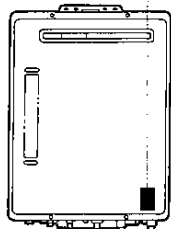
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●ガス・電源の種類を確かめてください

- 機器に貼り付けてある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使わないでください。
- 銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使わないでください。

(注) この部分を必ずご確認ください。



銘板例	
RF	
RUF-2000P-W	
燃方式	13A 12A
都市ガス用	13A 12A
最大	49500 38200
給湯	37800 35000
ふろ	12000 11200
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	1950/170w
リンナイ株式会社	
販売代理店：大阪府大阪市東淀川区 平野町 1-1-10	
型式番号	A-4814
20℃以上給湯時	消費電力
品名	給湯給湯機
製造年	2014年
製造国	日本

●用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー及び風呂のお湯はり・温だき以外の用途には使用しないでください。

●使用場所について

- 排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、積木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。

●使用上のご注意

ガス漏れ予防

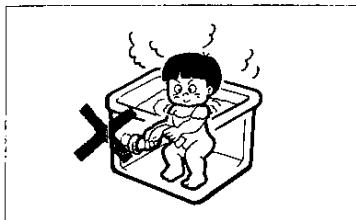
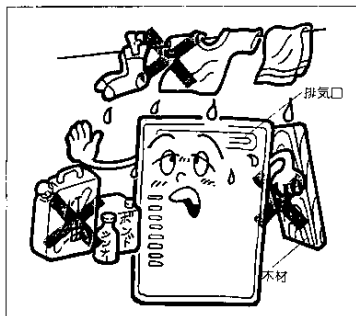
- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスにおいや、不快においがないかときどき確かめてください。

火災予防

- 機器の上やそばに燃えやすいもの(紙、洗たく物、揮発油など)を絶対に置いたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

循環不良防止

- 浴そうの風呂アダプターをタオルなどでふさがないようにしてください。



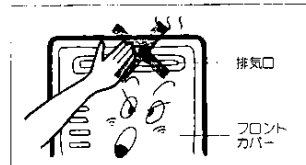
必ずお守りください

●銅と衛生について

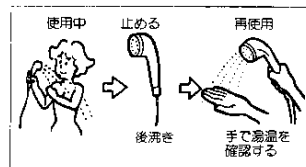
- 水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴そうやタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

●やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、機器本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。

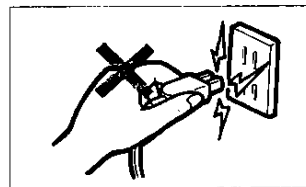


- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは機器の後沸きによって一時的にお湯がでることがありますので、ご注意ください。



●ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス栓を閉め、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。



●凍結についてのご注意

- 冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがあります。凍結のおそれのある期間には17ページの「凍結予防のしかた」にしたがって処置をしてください。

●停電時のご注意

- 停電すると自動的にガスを止め、運転が停止します。ただし、水は止まりませんので、給湯栓を開けてください。
- 使用を一旦中止し、過電再開後、再操作をおこなってください。
- 停電が終わり電気が通したら、リモコンの風呂設定温度、給湯設定温度を再設定してください。

必ずお守りください

凍結したとき

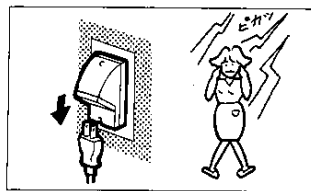
- ①機器や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、機器及び配管から水漏れがないことを確認後、10ページ「使用方法」の項以下の操作をおこなってください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐに使用をやめて運転スイッチを切り、ガス栓・給水元栓を閉めてください。(22ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって処置をおこなってください)

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞こえてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源ケーブルが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください)
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。(詳しくは21ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス社社にご連絡ください。

入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、入浴剤などのご注意文をじゅうぶんご参照ください。

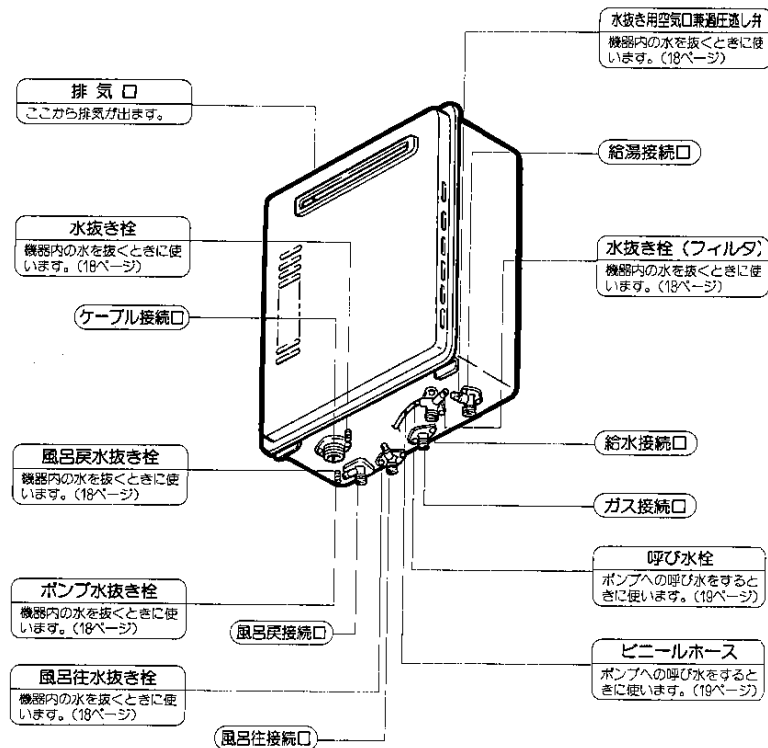
飲用にお使いのとき

- 機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

各部の名まえと扱いかた

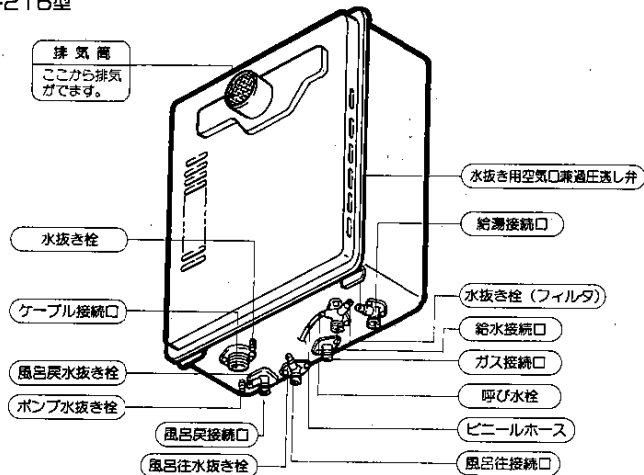
機器本体

31-215型

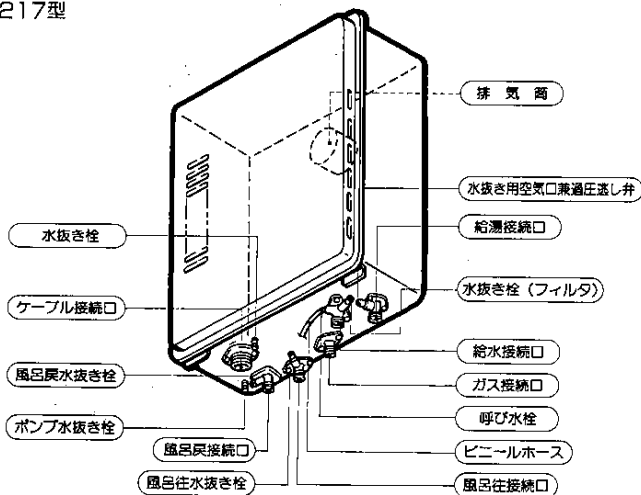


各部の名まえと扱いかた

31-216型



31-217型



各部の名まえと扱いかた

風呂リモコン

表示画面
お湯の温度や残りなどをデジタルと絵で表示します。

あつ湯スイッチ/あつ湯ランプ
お風呂の温だきをしたいときに押します。

運転スイッチ/運転ランプ
お湯を使うときは「入」の状態にしておきます。

沸きあげ保温スイッチ/沸きあげ保温ランプ
お湯を沸かすときに押します。

切替スイッチ/切替ランプ
お風呂の給湯やシャワーの温度を変えるときにスイッチを押し、切替ランプが点灯してから、お湯の温度が変えられます。

給湯温度

沸きあげ温度

呼び出し

給湯温度スイッチ
お風呂の給湯やシャワー、キッチン・洗面所のお湯の温度(38℃～75℃・16ステップ)を決めるときに押します。

沸きあげ温度スイッチ
お風呂の沸きあげ温度(38℃～42℃・11ステップ)を決めるときに押します。

呼び出しスイッチ
押すとメインリモコンのプーガァ鳴ります。

<表示画面>

給湯表示
お湯を使用しているときに表示します。

高温表示
お湯の温度が60℃・75℃に設定されているときに表示します。

風呂設定温度表示
お風呂の沸きあがり温度の目安を表示します。

給湯設定温度表示
給湯されるお湯の温度の目安を表示します。

シャワー温度表示
38℃・40℃・41℃・42℃・43℃のときに表示します。

風呂設定温度表示
お風呂の沸きあがり温度の目安を表示します。

給湯燃焼表示
給湯値が燃焼すると表示します。

時刻表示
現在時刻を表示します。

風呂設定温度表示
お風呂の沸きあがり温度の目安を表示します。

沸き表示
「あつ湯」終了時および保温中に表示します。

保温中表示
保温中に表示します。

風呂運転表示
「沸きあげ保温」あつ湯」中に表示します。

沸き表示
沸きより沸量が設定してあるときにお湯を使うと点滅します。

故障表示
燃焼や使用方法に不具合があった場合は、時刻表示が故障表示になってお知らせします。

風呂燃焼表示
風呂値が燃焼すると表示します。

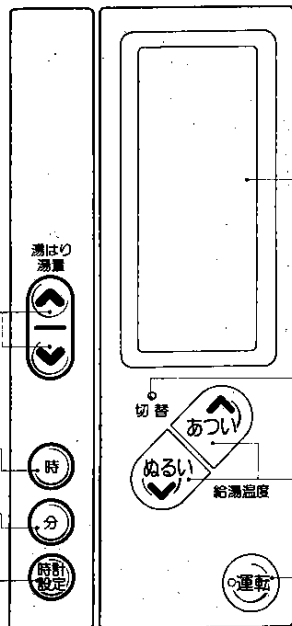
メインリモコン

湯はり湯量調節スイッチ
お風呂の湯はり量（お知らせボタンが属する湯量）を決めるときに押します。

時スイッチ
現在時刻の「時」を合わせます。

分スイッチ
現在時刻の「分」を合わせます。

時計設定スイッチ
リモコンの照射を現在時刻にセットすると表示します。



表示画面
お湯の温度や時刻などをデジタルと給で表示します。

切替ランプ
ランプが点灯しているときは、給湯の温度が変更されます。

給湯温度スイッチ
お風呂の給湯やシャワー、キッチン、洗面所のお湯の温度（35℃～75℃・6ステップ）を決めるときに押します。

運転スイッチ/運転ランプ
お湯を使うときは「入」の状態にしておきます。

〈表示画面〉

高温表示
お湯の温度が60℃、75℃に設定されているときに表示します。

給湯表示
お湯を使用しているときに表示します。

食器洗い湯温表示
35℃、37℃、39℃のときに表示します。

給湯動作表示
給湯部が動作すると表示します。

給湯設定温度表示
給湯されるお湯の温度の目安を表示します。

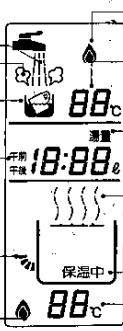
時刻表示
現在時刻を表示します。

湯量（ℓ）表示
湯はり湯量調節スイッチを押すと、残湯表示が湯量表示に変わります。

故障表示
機器や使用方法に不都合があつた場合は、故障表示が故障表示となっておりますお知らせします。

風呂運転表示
「お湯が保溫」「あつ湯」中に表示します。

風呂動作表示
風呂部が動作すると表示します。



湯量表示
湯はり湯量が設定してあるとお湯を使うと点滅します。

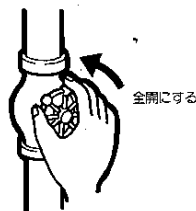
湯気表示
「あつ湯」終了後および保溫中に表示します。

保溫中表示
保溫中に表示します。

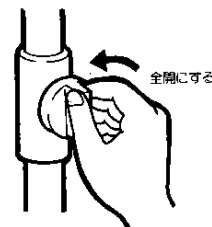
風呂設定温度表示
お風呂の湯きあげ湯温の目安を表示します。

初めてお使いいただくときに

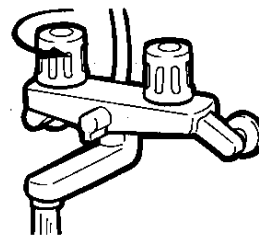
1 給水元栓を全開にしてください。



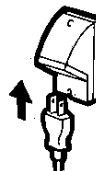
2 ガス栓を全開にしてください。



3 給湯栓を開けて、水の出ることを確認してから開めてください。



4 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



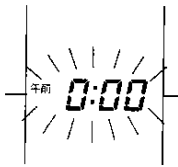
使用方法

時刻設定

- 1** メインリモコンのフタを開け
時計設定スイッチを押します。



- スイッチを押すと、画面の時刻表示が一：一の点滅から、午前 0:00 の点滅になります。



- 2** 時・分スイッチで
現在の時刻に合わせます。



- 時・分スイッチを押しながら、現在時刻を画面に表示します。

- ※ 押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



注意! 午前と午後を間違えないように!!



- 3** 時計設定スイッチを
もう一度押します。

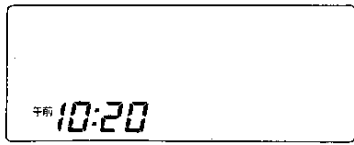


- 点滅が止まります。



- 4** 時計合わせができました。

- メインリモコンで時計合わせが完了すると同時に、風呂リモコンに時刻が表示されます。



使用方法

給湯・シャワー

- 1** 「運転」ランプの点灯を
確かめます。

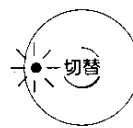


- 「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

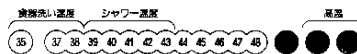
- 2** お好みの給湯温度にセットしま
す。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまだ差し込んだ後、また停電後の給湯温度は42℃になります。

風呂リモコンで温度調節するとき




- 「切替」ランプの点灯を確かめます。
- 「切替」ランプが点灯していないときは、「切替」スイッチを押します。
- 給湯温度が変わられます。




- ♡ スイッチを押し続けると35℃まで連続で表示が変わります。
- ▲ スイッチを押し続けると60℃まで連続で表示が変わりますが、75℃を設定するときはもう一度押してください。

給湯温度

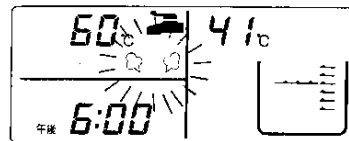


- シャワー適温範囲 (39℃~43℃) のときは、表示画面に「」がでます。(風呂リモコン)

注意!

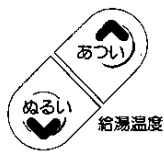
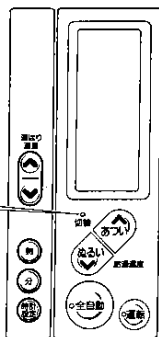
60℃、75℃のときは湯気のマークが点滅します。


シャワー使用中に湯温を変えるとやけどなど、非常に危険です。じゅうぶんにご注意ください。



メインリモコンで温度調節するとき

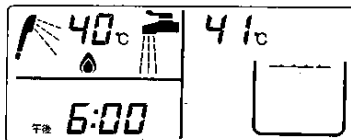
- 「切替」ランプの点灯を確かめます。
- 「切替」ランプが点灯していないときは、風呂リモコンの「切替」スイッチを押します。



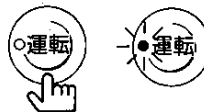
- 給湯温度スイッチで風呂リモコンと同じ操作をします。
- 食器洗い適温範囲 (35°C~38°C) のときは、表示画面にがでます。(メインリモコン)

3 給湯栓を開ければお湯が出ます。

- 使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
- ご使用後すぐに、お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用される時は手で湯温を確かめてからご使用ください。
- 給湯温度表示の数字は実際の給湯温度と多少異なりますので湯温設定の目安としてください。



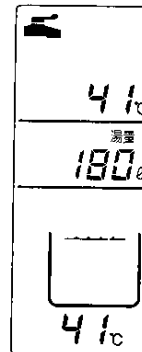
1 「運転」ランプの点灯を確かめます。



- 「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 メインリモコンのフタを開け、「湯はり湯量調節」スイッチでお湯の量(お知らせブザーが鳴る湯量)を選びます。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後のお湯の量(お知らせブザーが鳴る湯量)は180ℓになります。



- 「湯はり湯量調節」スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が右図のような湯量(ℓ)表示に変わります。
- 湯はり湯量調節範囲は、60ℓから300ℓまでは20ℓきざみで、その他は350ℓ、400ℓ、-----となります。(-----の表示の場合は、お知らせブザーは鳴りません)
- 設定湯量を確認したい場合は、湯はり湯量調節スイッチを押してください。約10秒間設定湯量が点滅します。

3 設定された量のお湯を使うと、メインリモコンのブザーが鳴ります。

- お風呂などに給湯栓からお湯はりすると図で設定した湯量になったところでメインリモコンのお知らせブザーが鳴ります。



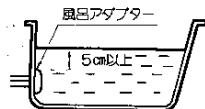
ブザーが鳴ったら必ず給湯栓を開けてください。

- お湯はり前には必ず設定湯量を確認してください。
- お湯はり中に給湯・シャワーを使用しますと、お湯はり量(お知らせブザーが鳴る湯量)が給湯・シャワーで使った分少なくなります。

使用方法

沸きあげ保温

浴そうにお湯、または水が入っていることを確かめます。



●浴そうの排水せんは水もれのないように、しっかり差しこんでください。

1 「運転」ランプの点灯を確かめます。



●「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 お好みの沸き上がり温度にセットします。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の沸き上がり温度は42℃になります。

●風呂リモコンのフタを開け、「沸きあげ温度」スイッチでお好みの温度に調節します。

沸きあげ温度



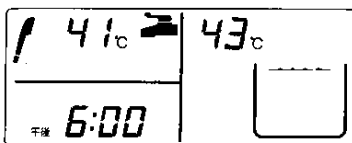
- 設定できる温度は38℃～48℃の1℃きざみで、11ステップです。
 - 1回スイッチを押すと1℃変わります。押し続けると、連続で表示が変わります。
- *温度表示は目安です。

ぬるい ふう あつい

38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

お好みのお湯の温度には個人差があります。
この表は、およその目安にしてください。

●リモコン表示画面では「風呂」側に、設定した温度が表示されます。

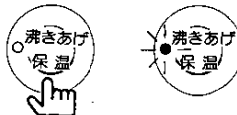


★お風呂への湯は温度を決めたのち、続いて《給湯（シャワー、キッチン、洗面所）》のお湯の温度を決めるときは→11ページをご覧ください。

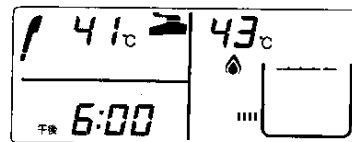
使用方法

沸きあげ保温

3 風呂リモコンの沸きあげ保温スイッチを押します。

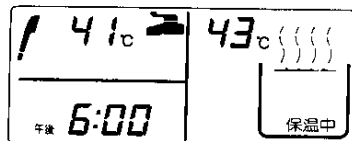


- 「沸きあげ保温」ランプが点灯し、お風呂沸かしがスタートします。
- お風呂沸かしの途中は、右図の表示がでます。
- 途中で止めたいときには、もう一度「沸きあげ保温」スイッチを押します。沸きあげ保温運転が止まり、沸きあげ保温ランプが消えます。



4 お風呂の沸き上がりから約4時間は、自動的に保温します。

- お風呂沸かしが終わると、メインリモコンのブザーで「ビビビビ」と約5回お知らせします。また、湯気表示が約90秒間点滅し、「保温中」の表示が点灯します。
- 沸き上がりから約4時間の間は、お湯の温度がさがると自動的にあたためます。



5 沸き上がりから約4時間たつと、「沸きあげ保温」ランプが消えます。

- 同時に表示画面の「保温中」の表示も消え、沸きあげ保温運転を終了します。



- ②の沸き上がり温度の設定は、運転スイッチを「切」にしても機器が記憶していますので、次に使うときあらためて設定し直す必要はありません。①、③の操作だけで結構です。
- 停電後や電源プラグを抜き差ししたあとは、沸き上がり温度は自動的に42℃に戻ります。再度設定し直してください。

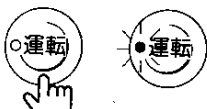
浴そうのお湯を少しあつくしたいときに便利です。
浴そうにお湯、または水が入っていることを確かめます。

(風呂アダプターより5cm以上うえ)



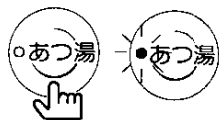
●浴そうの排水せんは水もれのないように、しっかり差し込んでください。

1 「運転」ランプの点灯を確かめます。



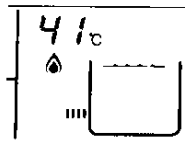
●「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 風呂リモコンの「あつ湯」スイッチを押します。



●「あつ湯」ランプが点灯し、約3分間過ぎます。このとき表示画面には右図の表示がでます。

●途中で止めたいときには、もう一度「あつ湯」スイッチを押します。追だきがとまり、ランプが消えます。

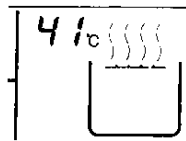


3 追だきが終わると、「あつ湯」ランプは消えます。

●追だきが終わると「あつ湯」ランプが消え、表示画面には右図のような蒸気の表示が約30秒間点滅します。



- 沸きあげ保温中に「あつ湯」スイッチを押した場合、「沸きあげ保温」ランプは点灯したままです。
- 沸きあげ運転中に「あつ湯」スイッチを押した場合、設定温度よりも約2℃高く沸きあげます。



凍結予防のしかた

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため機器や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかる場合があります(有料)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置をおこなってください。

●凍結予防装置による方法

- この機器は外気温が下がってくると自動的に凍結予防装置(ヒータ)が機器内を保温します。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。
※配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけてください。

●通水による方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

(給湯側)

- ①運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉める。(電源プラグは抜かないでください)
- ②給湯栓を開け1分間に約200cc以上(牛乳ビン1本ぐらい)(特に寒い日は多目に)を流してください。
※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

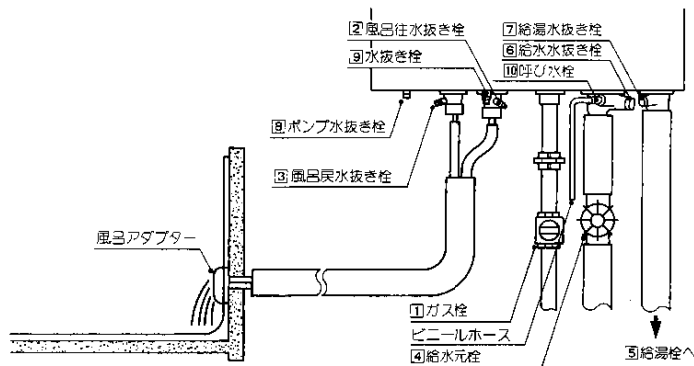
● 機器内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ずおこなってください。
また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

■ 給湯側・風呂側の双方でおこないます。

1. 給湯側の水抜き

- ①運転スイッチを「切」にしてください。(電源プラグはまだ抜かないでください)
- ②ガス栓①を開けてください。
- ③給水元栓④を開けてください。
- ④給湯栓②をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
- ⑤給水水抜き栓⑦、給湯水抜き栓⑧を開けてください。



2. 風呂側の水抜き

- ①ガス栓①を開けてください。
- ②給水元栓④を開けてください。
- ③浴そうの水を排水してください。(浴そうの排水栓を抜いてください)
- ④リモコンの運転スイッチを押して(「入」にする)ください。
※運転ランプが点灯します。
- ⑤風呂リモコンのあつ湯スイッチを押して(「入」にする)、浴そうの風呂アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。
※2階浴そうなど、浴そうが機器より高い位置にある場合は、風呂注水抜き栓を開けてから、風呂リモコンのあつ湯スイッチを押して(「入」にする)、風呂注水抜き栓より水(お湯)が出てくることを確認してください。

- ⑥排水が止まったら再度あつ湯スイッチを押してあつ湯運転を中止し、もう一度あつ湯スイッチを押して(「入」にする)排水運転し、約1分間そのままにしておいてください。
- ⑦排水の確認後、運転スイッチを押して(「切」にする)ください。
- ⑧風呂注水抜き栓②、風呂戻水抜き栓③、ポンプ水抜き栓⑤、水抜き栓⑥を開けてください。
- ⑨電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

注意

- 以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるのでそのままにしておいてください。
- 風呂の水抜きを行った後は、浴そうに水を流し込まないでください。

水抜き後の使用方法

注意

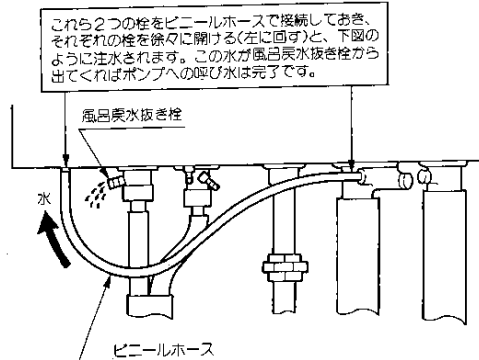
再度使う場合の<通水>は、給湯側からおこなってください。

1. 機器給湯側に通水してください。

- ①給湯栓②をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
- ②給水水抜き栓⑦、給湯水抜き栓⑧を開けてください。
- ③給水元栓④を全開にしてください。
- ④給湯栓②を開け通水を確認した後、給湯栓②を開けてください。

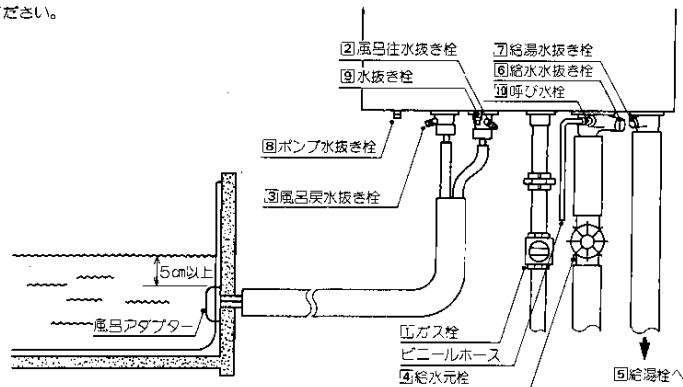
2. 機器風呂側に通水してください。

- ①風呂注水抜き栓②、水抜き栓③を閉め、風呂戻水抜き栓④、ポンプ水抜き栓⑤を開けてください。
- ②呼び水栓⑥についているビニールホースの先端をポンプ水抜き栓⑤に接続してください。
- ③呼び水栓⑥を開けてください。
- ④風呂戻水抜き栓④から水が出るのを確認したら、呼び水栓⑥を開けてください。



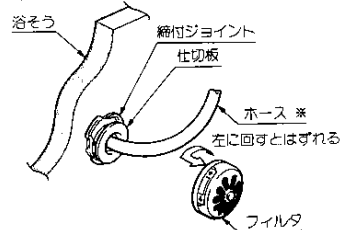
凍結予防のしかた

- ⑤風呂戻水抜き栓②、ポンプ水抜き栓④を開め、ビニールホースをポンプ水抜き栓④から抜いてください。
- ⑥浴そうにお湯(水)をはってください。
- ⑦電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
- ⑧リモコンの運転スイッチが切れている(運転ランプが消えている)ことを確認した後、ガス栓①を全開にしてください。

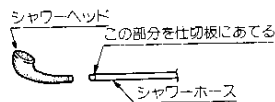


■呼び水は下記の方法でも可能です。

- ①風呂アダプターのフィルタを左に回して取りはずす。
 - ②仕切板の中心の穴にホースをあてて水を入れる。
 - ③仕切板の隅隅から水が出てくれば完了です。
- ※この方法で呼び水をおこなう場合は、風呂戻水抜き栓②、風呂戻水抜き栓③、ポンプ水抜き栓④、水抜き栓⑤は閉めておいてください。
- ※呼び水が終わったらフィルタを右に回しながらもとり取り付けておいてください。



※口径の大きな混合水栓などでホースが接続できない場合、シャワーのシャワーヘッドをはずしてシャワーホースの先端を仕切板にあてても結構です。



3. 機器への注水が終了しましたら運転スイッチを押し(『切』にする)、運転ランプが消灯するのを確認してください。

現場施工の状況により、「凍結予防装置による方法」や「機器内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- 機器を安全、快適にご使用いただくために、日常の点検・お手入れを必ずおこなってください。
- 点検・お手入れの際には運転スイッチを「切」にして機器が冷えてからおこなってください。
- 機器およびリモコンはカバーを開けないでください。
(故障の原因になりますので絶対に分解しないでください)

●点検

- 機器の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか。
- 排気口や給気口をふさいでいませんか。

●お手入れ

- 外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
(タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください)
 - リモコンの掃除
リモコンの表面が汚れたときは、じゅうぶん水を絞った布で拭いてください。
- ★リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯性を開いて機器が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 機器のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が「正常」かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための「ひけつ」です。お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

■次のような場合は、故障ではありません。

こんなとき	理 由
給湯栓を絞るすぎて水にならなかった	この機器は、通水量が約2ℓ/分以下になったときは、消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで異常ではありません。
排気部から白煙が出る	外気温が低いときは排気ガスの水蒸気が白煙のように見えますが故障ではありません。
冬期など寒いときにポンプが自動的に動く	凍結破損予防のために、ポンプの自動運転を行います。
蛇口を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から蛇口までは距離があります。そのためお湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯温度設定が70℃から60℃に変わる	風呂リモコンの切替スイッチを押したり、運転スイッチを一旦「切」にすると60℃に変わります。
スイッチ「切」にしてもファン、ポンプがまわる	運転スイッチ、および沸きあげ保温スイッチを「切」にしたとき、熱交換器の余熱を放熱するためです。
表示画面の表示が乱れている	リモコンを乾いた布で拭いた場合、表示画面が乱れることがあります。この場合はしばらくそのままにしておくと直ります。
時刻表示が「-:--」になっている	停電などで一時的に電源が切れた後は、表示画面の時刻表示が「-:--」になります。なお、給湯・風呂設定温度や湯はり湯量も初期状態に戻りますので、再度設定をやり直してください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちご使用を中止され、じゅうぶんな点検をしてください。

こんなとき	原因										処置方法	備考
	電源プラグがはずれている	ガス栓の開き不十分	給水元栓の開き不十分	配管内に空気が残っている	水フィルタの詰まり	断水している	凍結している	給気口・バーナ出口・熱交換器・ノズルの目詰まり	安全装置が作動	電気部品の故障		
お調べいただきたいこと	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
電源プラグがはずれている	●	●										●
ガス栓の開き不十分		●	●	●								●
給水元栓の開き不十分		●	●									●
配管内に空気が残っている		●	●					●	●			●
水フィルタの詰まり		●	●		●	●						●
断水している		●										●
凍結している												●
給気口・バーナ出口・熱交換器・ノズルの目詰まり		●	●	●								●
安全装置が作動		●	●						●	●		●
電気部品の故障	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
停電	●	●	●									●
風呂リモコンの「切替」スイッチが適切でない				●	●							●

故障かな?と思ったら

故障表示 機器および使用方法に不具合があった場合は自動的に運転を停止し、表示画面に故障表示が点滅します。

故障表示	使用状態	内 容	処 置 方 法	主な点検箇所や部位
U1	給湯	給湯点火ミス	ガス栓確認後、運転スイッチを一旦切って、再操作	給湯側 ・ガスがきていない十分にきていない ・ガス電磁弁 ・イグナイター ・点火プラグ ・フレームロッド ・電装ユニット など
U2	沸きあげ保溫あつ湯	風呂点火ミス	ガス栓確認後、運転スイッチを一旦切って、再操作	風呂側 ・ガスがきていない十分にきていない ・ガス電磁弁 ・イグナイター ・点火プラグ ・フレームロッド ・電装ユニット など
U3	沸きあげ保溫あつ湯	風呂水流スイッチが10分間OFFのまま	浴そう排水栓をしつかり閉めた後、運転スイッチを一旦切って、再操作	・ポンプ ・配管詰まり ・風呂水流スイッチ ・電装ユニット など
E1	給湯	給湯失火	運転スイッチを一旦切って、再操作	給湯側 ・燃焼不良または排気ノークする場合 ・比別弁 ・フレームロッド ・電装ユニット など
E2	沸きあげ保溫あつ湯	風呂失火	運転スイッチを一旦切って、再操作	風呂側 ・燃焼不良または排気ノークする場合 ・ファン ・フレームロッド ・電装ユニット ・比別弁
E3	給湯 沸きあげ保溫あつ湯	給湯燃焼用ファンの回転を検知しない	運転スイッチを一旦切って、再操作	・給湯用ファンのトラブル ・ファンモーターカホールIC不良 ・電装ユニット など
E4	給湯 沸きあげ保溫あつ湯	風呂燃焼用ファンの回転を検知しない	運転スイッチを一旦切って、再操作	・風呂用ファンのトラブル ・ファンモーターカホールIC不良 ・電装ユニット など
E5	沸きあげ保溫あつ湯	風呂サーミスタの異常、コネクタの接触不良	運転スイッチを一旦切って、再操作	・風呂サーミスタのトラブル ・サーミスタ ・リード線 ・コネクタ不良 ・電装ユニット など
E8	運転スイッチON	伝送エラー	ケーブルの接続を確認し、再操作	・ケーブルショート ・電装ユニットショート ・リモコン など
E9	運転スイッチON	初期チェック不良、電装ユニット、リモコンの故障	運転スイッチを一旦切って、再操作	・電磁弁回路 ・フレーム線に電流 ・電装ユニット ・リモコン など
H1	給湯	給水サーミスタの異常	運転スイッチを一旦切って、再操作	・給水サーミスタ系統 ・電装ユニット など
H2	給湯	給湯出湯サーミスタの異常	運転スイッチを一旦切って、再操作	・出湯サーミスタ系統 ・電装ユニット など
L1	運転スイッチON	リモコンと本体の型式違い	電源プラグを抜き(分電盤の専用スイッチを「切」にし)、本体に合った正しい型式のリモコンと取り換え	

・再操作しても状況が変わらない場合は、ガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

仕様

品 名		ガス風呂給湯器(強制循環タイプ)				
品 番		31-215型	31-216型	31-217型		
形 式 の 呼 び		RUF-2000PW	RUF-2000PWT	RUF-2000PWB		
日 水 協 登 録 番 号		A-4814				
外、形 寸 法		高さ600mm×幅470mm×奥行180mm				
重 量		28kg				
点 火 方 式		連続放電・ダイレクト着火方式				
給 湯 器	最低作動水圧	0.15kgf/cm ²				
	最低作動水量	2.7ℓ/分				
	出湯温度	35℃～75℃(16ステップ)				
沸きあげ温度調節範囲		38℃～48℃(11ステップ)				
設 置 方 式		屋外壁掛設置または		パイプシャフト(扉内)設置		
接 続	給 水	20A (R3/4)				
	給 湯	20A (R3/4)				
	ガ ス	20A (R3/4)				
	風 呂 (往・戻)	15A (R1/2)				
	電 気	AC100V (1.5m)				
消 費 電 力		170W (60Hz)				
排 気 温 度		23℃以下				
安 全 装 置		・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・残火安全装置 ・過圧防止安全装置 ・凍結予防装置 ・風呂用空だき安全装置 ・誘導保護装置 ・海電安全装置 ・過電流防止装置				
付 属 部 品		・風呂リモコン ・メインリモコン ・木ねじセット (31-215型のみ) ・PS設置用ねじセット ・風呂継手				
別 売 部 品		・ケーブル線2芯 (4) 38-132) ・排気カバー (4) 36-216) ・配管カバー (4) 36-247) ・扉内設置用取付ボックス (4) 36-248) ・厚壁用調節パイプ中 (4310570400) ・厚壁用調節パイプ大 (431057040)				
使 用 ガ ス グ ル ープ	1時間当りのガス消費量(最大消費量)(kcal/h)	給湯風呂併用			出湯能力(能力大)(ℓ/分)	
		給湯側	風呂側		上昇温度	
都市ガス	13 A	49,500	37,500	12,000	20.0	40℃ 12.5
L P ガ ス		4.1kg/h	3.1kg/h	1.0kg/h	20.0	12.5

●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

●ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

●出湯能力は計算値です。

注) 別売の風呂アダプター(ロー付けSタイプ (4) 36-227) のいずれかが必要です。

ロー付けLタイプ (4) 36-228

ねじ接続Lタイプ (4) 36-229

保管とアフターサービス

MEMO

●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1)ガス栓を閉める。
- (2)給水元栓を閉める。
- (3)電源プラグを抜く。
- (4)機器の水抜きをおこなう。(水抜き方法は18ページを参照してください)

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
2. 品目……31-215/216/217型(右のようなラベルを機器の前面右下部に貼り付けてあります)
3. 現金……できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

(N) 31-215

大阪ガス株式会社 [00]

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガス風呂給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス風呂給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
 - 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
- その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

MEMO

MEMO